

第1学年 学級活動(1)指導案

1 議題「にっこりリンピックでする種目をきめよう！」

2 議題設定までの経過

- 本学級では、年度当初にどんな学級にしたいかを一人一人が出し合いながら学級目標を話し合い、「にっこにこ ～なかよく がんばる たのしいクラス～」に決定した。

1学期に、集会活動6月に「雨の日大作戦」や7月の終わりに「転校するお友だちのお別れ会」を行い、フルーツバスケットやイス取りゲームをして、みんなで仲良く活動できた。また、それぞれが司会係や飾り係などの自分の役割をもち、助け合い活動することができた。みんなで仲良く助け合って活動すると、とても楽しい活動ができることを実感することができ、児童達は、「2学期にも、みんなで集会をして、もっとにっこにこのクラスになりたい」と気持ちを高めていった。また、1学期の途中から、昼休みにみんなで遊ぶ日をつくり、週1回みんなで遊ぶことを経験している。最初は、学級会で約束を決め、みんなで仲良く遊べるようになった。しかし、毎回「おにごっこ」「けいどろ」などの遊びになってしまった。2学期に入り、みんなで遊ぶ日が少なくなり、ついには、教師の呼びかけ無しには、遊ばなくなってしまった。今は、1人や2人での少人数で遊ぶことが多い。

1学期に学級会で、みんなで意見を出し合い、みんなで何かを決め、実行することを数回経験し、みんなで話し合うよさを少しずつ実感してきた。しかし、全体的に自分の気持ちをなかなか言葉にできない児童、自信がなく失敗をおそれている児童が多く、人前で自分の意見を発表することを極端に苦手とする児童もいる。教師が指示をすれば、意欲的に取り組むことができるが、自分たちでアイデアを出し合って行動することは、まだほとんどできない。学級会の組織としては、輪番制の司会グループの進行によって学級会を進めるようにした。計画委員会は、当番になった司会グループが兼任した。休み時間を中心に、教師が進行しながら議題案の処理、司会・記録の分担、学級会の準備など協力して活動することを経験してきた。児童は司会グループがまわってくることを楽しみにしている。

毎日の帰りの会に「きょうのにっこにこ」という時間と「しあわせタイム」をとっている。「きょうのにっこにこ」では、友だちの頑張っている姿や、自分が友だちにしてもらってうれしかったことを発表している。その後、「しあわせタイム」を1分間とり、今日一日を振り返り、友だちに「ありがとう」や「ごめんね」、「また、明日も遊ぼうね」と言い合ったり、一人一人がペットボトルにビーズを貯める「しあわせ貯金」をしたりしている。また、個人だけでなくクラス全体が学級目標に近づく行動をしたとき（みんながにっこにこになれるとき、みんなで協力できたとき、頑張ったとき、だれかがよい行動をとったときなど）には、学級目標に「にっこにこマーク」をはったり、クラスの「しあわせ貯金」を貯めたりしてきた。児童は、これらが貯まっていくのを、本当に楽しみにしており、仲間意識が高まってきている。今までの学級集会の後には、「にっこにこマーク」や「しあわせ貯金」が増えており、今回の議題でも「今度も、マークやクラスのしあわせ貯金が増えるかもしれないね」と期待を高めている。

- 本議題は、2学期はじめにとったアンケートで、「クラスでも、オリンピックがしたい。」「クラスで遊ぶ日が少なくなったから、みんながもっと仲良くなるように、集会がしたい。」という思いから発生し、議題ポストに議題案が入れられた。計画委員会で議題を選定し、スポーツの秋にちなみ本議題をみんなで決めた。

1学期の集会は、フルーツバスケットといすとりゲームなどみんなで一緒に楽しむゲームをした。今までの昼休みの遊びも、おにごっこやけいどろなどが多く、みんなで力を合わせて遊ぶ経験は、ほとんどない。9月の終わりに、「全校スポーツ集会」を経験し、みんなで「つなひき」や「なわとび」をし、力を合わせる喜びを知ることができ、「みんなで力を合わせるって楽しいね。」「また、自分達もスポーツ集会をやりたいね。」という声も聞こえるようになってきた。よって、クラスでスポーツ集会を行い、自分も友だちも楽しめる種目を考えることによって、自分だけでなく友だちを意識することができ、学級のまとまりがより一層強まっていくことができると考える。さらに、ひとりひとりに役割をもたせ、責任をもって働くことで自分のよさを発揮

し、自尊感情を高めることにつながる点でも、本議題は重要な意義をもつものとする。

- 本活動では、児童が自分の意見を出し、友だちの意見を聞くという話し合い活動を通して、みんなで種目を集団決定し、一人一人が役割をもって準備し、みんなが力を合わせながら楽しく活動することを通して、学級としてのまとまりを高めていくことをねらいとしている。

事前の活動で、種目についてのアンケートをとり、話し合いの観点に沿って、5つの種目に絞った。そのうち、ほとんどの児童が希望していた、「つなひき」と「バトンリレー」は、決定し、「ぴよんぴよんリレー」「へびじゃんけん」「ボールはこび」の3つの原案に絞り、話し合いで決定することにした。話し合いまでに全員が原案の試しの体験活動（試しの活動）をおこなう。原案に対して、ひとりひとりの意見を個人ノートに書いておく。この試しの体験活動をおこなうことによって、実感を伴った意見をもつことができると考える。

本時の活動では、アピールタイム（提案）で、事前での共通体験活動をもとに、やり方などの確認をする。その後のなるほどタイム（交流）では、話し合いの観点をもとに、3つの原案を1つに決めていく。

話し合いの観点は、

- 楽しめるもの（自分が楽しい・お友だちが楽しい・いつでも楽しい）
- 助け合えるもの（ひとりではなく、ともだちといっしょにできるもの）

であり、随時体験活動等を取り入れながら、実感を伴った話し合いができるようにする。

事後の活動では、1学期の集会活動を想起しながら、必要な係を話し合い、役割分担をする。各係の仕事の掲示板をつくり、役割の準備ができているか随時確認ができるようにする。集会後は、振り返りの時間をとり、今後に生かせるようにする。

3 第1学年 学級活動年間計画

	テーマ		めざす子ども像	生活の充実と向上に関する活動 学級活動（1）			適応及び健康安全に 関する活動 学級活動（2）	他との 関わり
	学期	月		話し合い 活動（仮）	係活動	集会活動		
4	ともだちをつくる	スタート	◎学級のめあてづくりや学校行事等の活動を通して、仲良くなるうとしている。 ○学級の一員として、活動に参加し、友だちを作っている。	学級のめあてをつくろう			学校のきまり 給食の準備と後片付け 掃除のしかた	☆歓迎遠足（6年生） ☆歓迎集会（全学年） ☆学校探検（2年生）
5	ろ	する	◎運動会などの学校行事などを通して、お互いを知り、仲良くなるうとしている。 ○活動に積極的に参加し、ともに仲良くなるうとしている。	みんなで遊ぶ遊びを考えよう。 運動会のスローガンをきめよう。	係をきめよう		おいしい給食（食育） 図書館のきまり 交通教室	☆運動会（全学年）
6	つくる		◎みんなでやりたいことを考えて、活動しようとしている。 ○自分の考えを言ったり、友だちの考えを受け入れたりしながら、みんなががんばっていかようとしている。	学級の歌をつくろう。 雨の日大作戦の計画をたてよう		雨の日集会	歯を大切に	☆なかよし全校集会（全学年）

7		まとまる	◎みんなでやってみたいことを考えて活動することを喜び、まとまって活動しようとしている。 ○自分のいいところや友だちのいいところを認め合いみんなで頑張っている。	一学期頑張ったね集会の計画をたてよう。		1学期頑張ったね集会	楽しい夏休み	
9	ち か ら を あ わ せ よ う	あわせる	◎一人一人がよりよい学級づくりに取り組もうとしている。 ○友だちの考えを聞いて、よりよい考えを作り上げようとしている。	2学期の係を決めよう	2学期の係の計画をたてよう		防犯訓練	☆なかよしスポーツフェスタ(全学年)
10		たすけあ う	◎お互いの力を合わせることを、日ごろの生活の中で意識して、学級がよくなるために助け合いながら活動しようとしている。 ○友だちと助け合いながら自分のできることを進んで取り組もうとしている。	にっこリン ピック集会 をしよう		にっこリン ピック集会	もっとなかよし	☆1・2年生合同遠足(2年生)
11		つたえる	◎自分のよさや友だちのよさを認め合い、それを伝えながら活動しようとしている。 ○自分のよさやお互いのよさに気づき、お互いに認め合っている。	ともだちのよさをみつけ大作戦をしよう			ともだちのよさをみつけよう	☆学芸発表会(全学年) ☆地域のお年寄りとの交流(地域)
12		みがく	◎一人一人が学級のために自分の力を精一杯出している。 ○自分でできることに精一杯取り組もうとしている。	クリスマス集会をしよう		クリスマス会	ともだちのよびかたのしいふゆやすみ	☆保育園生との交流(保育園生)
1	お も い で を つ く ろ う	ありがとう	◎一年間を振り返り、友だちやお世話になった人に感謝の気持ちをもちながら活動することができる。 ○ともだちやお世話になった人に感謝の気持ちをもつことができる。	給食もりもり大作戦の計画をたてよう			かんしゃして給食を食べよう	

2	おもいで	◎1年間を振り返り、自分や友だち、学級の成長を認め合いながら活動することができる。 ○自分や友だちの頑張りに気づくことができる	思い出つくり大作戦の計画をたてよう			かぜをふせごう	☆お別れ集会 ☆お別れ遠足 (全学年)
3	にっこにこ(えがお)	◎一年間を振り返り、自分や友だち、学級の成長を認め合い、その達成感を味わいながら活動することができる ○自分や友だちの頑張りに気づき、自分の成長をかんじるることができる。	一年間のまとめをしよう			もうすぐ2年生	

4 目標

- クラスを学級目標に近づけるために、種目を話し合い、進んで活動することができる。
(関心・意欲・態度)
- 観点や提案理由と結びつけながら、種目を考えることができる。
(思考・判断)
- 自分の意見を、その理由とともに友だちに分かりやすく伝えることができる。
(技能・表現)
- 自分の役割や活動が分かり、活動の楽しさや大切さがわかる。
(知識・理解)

5 指導計画(全2時間+朝タイムなど)

展開	児童の活動	教師の指導と援助	日時
事前	1 学級会の議題について計画委員会で話し合う。	○ 2学期はじめにとったアンケートや今までの学級活動を想起させる。	昼休み
	2 計画委員会で、話合いの柱を決める。	○ 話合いの柱を決定する。	中休み
	3 種目についてのアンケートをとり、それを元に、教師と計画委員会で、原案を決める。	○ 1学期の運動会や体育の授業を想起させながら種目を考えさせる。 ○ 計画委員会にプログラムを決めさせる。 ○ アンケートの結果をもとに、3つの種目のうち、2つの種目は決定する。 ○ 原案を決める時は、話合いの観点をもとに選ぶようにする。	朝の会、 休み時間 随時
	4 原案の共通体験活動をおこなう。	○ 共通体験活動の直後に個人ノートに自分の考えを書かせる。	昼休み
	5 学級会ノートに、自分の考えを書く。	○ 原案に対し、個人の考えを持たせる。その際、理由も書かせるようにする。	
	6 計画委員会を開き、学級会の準備をする。	○ 司会グループと学級会の進め方を確認する。 ○ 十分に打ち合わせを行い、自信をもって取り組めるようにしておく。	昼休み

	児童の活動	教師の指導と援助	日時
本時	1 話合いで, にっこりんピック集会の種目を決める。	(下記参照)	5時間目
事後	1 実行委員で活動計画, 係分担計画, プログラムなどを作成し, 提案する。	○ プログラムから, 必要と思われる係を作り, 全員で分担できるようにする。	昼休み
	2 集会の準備をする。	○ 見通しをもって活動できるように, 計画表を掲示したり, 可能な限り時間を確保したりする。	
	3 にっこりんピック集会を実施する。	○ できるだけ児童の手に任せるが, みんなが楽しめるように, 随時適切な助言や励ましの言葉かけをおこなう。	5時間目
	4 活動を振り返る。	○ みんなで作上げた集会のよさについて, 話し合い, 準備, 本番のあらゆる場面に目を向けるようにする。 (感想, アンケート)	帰りの会

6 本時の目標

- 提案理由や話し合いの観点 (自分が楽しい・友だちが楽しい・いつでも楽しい) を意識しながら集団決定する事ができる。(思考・判断)
- 自分の考えを发表或し, 友だちの意見に聞いたりすることができる。(技能・表現)

7 準備

学級活動ノート, 司会マニュアル, 司会グッズ, 原案, 活動の流れ図, ネームプレート

8 本時の活動計画

話し合いの順序	指導上の留意点	評価の基準・方法
1 始めの言葉 2 司会者の紹介 3 議題の確認と提案理由の説明 ○議題 「にっこりリンピック集会の種目をきめよう」 ○提案理由 2がつきになって、みんなであそぶひが すくなくなってしまったから、 「にっこりリンピックしゅうかい」をして、もっとにっこりにこのクラスになりたいから	○ 明るく大きな声で、あいさつや紹介ができるように伝えておく。	話し合いに関心をもっている。(観察) 話し合いの簡単な司会進行がわかる。(司会グループ・観察)
4 話し合いのめあての確認 ・ 友だちの考えをよく聞いて、自分の考えをすすんではっぴょうしよう。 ・ 次のことを考えながら、話し合いをしよう。 ○ みんなが楽しめるか(自分が楽しい・友だちが楽しい・いつでも楽しい) ○ みんながたすけあえるか。		
5 先生の話 6 話し合い	○ 提案理由の大切な部分を、板書でも強調しておく。 ○ 提案理由、話し合いのめあてに沿った話し合いになるよう、もう一度強調しておく。	
柱1 しゅもくをきめよう		
(1) アイディアタイム…提案を確認する (2) なるほどタイム …自分の意見を発表する。 (3) まとめタイム…意見を1つにまとめる。 (4) にこにこタイム…決まった意見を確認する。	○ 話し合いの流れを、一人一人に確認させておく。 ○ 意見が言いやすいように、個人ノートに励ましのコメントなどを書いておく。 ○ 体験活動をさせ、実感をともなった集団決定ができるようにする。 集団決定の観点(例) ・ 楽しいもの(自分、友だち、いつでも) ・ 助け合えるもの ・ みんなができるもの ・ どのチームも勝つチャンスがあるもの	自分の考えを言う。(発言) 友だちの意見を聞く。(発言) 話し合いで決まったことがわかる。(観察)
7 話し合いの振り返り(自己評価と感想) 8 先生の話 9 終わりの言葉	○ 話し合いが行き詰りそうになったら、児童が提案理由や話し合いのめあてに立ち返ることができるような助言をする。 ○ はっきりと大きな声で言うように伝えておく。 ○ 話し合いで決まったことの良さ、みんなと一緒に話し合うことができたこと司会者グループへの労い、集会への意欲付けなどをおこなう。	

10 評価

- クラスを学級目標に近づけるために、種目を話し合い、進んで活動することができたか。
(関心・意欲・態度)
- 観点や提案理由と結びつけながら、種目を考えることができたか。
(思考・判断)
- 自分の意見を、その理由とともに友だちに分かりやすく伝えることができたか。
(技能・表現)
- 自分の役割や活動が分かり、活動の楽しさや大切さが分かったか。
(知識・理解)